

【1 分解説】アニマルウェルフェアとは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 副主任研究員 田村 洸樹

アニマルウェルフェアは「動物の生死の状態に関わる身体的・精神的状態」と定義され、一般的には、人の管理下にある動物の QOL（生活の質）や Well-being（幸福度）を確保することを指します。

似た意味をもつ言葉には「アニマルライツ（動物の権利）」と「動物愛護」があります。アニマルウェルフェアは、人による動物の利用を否定せず、科学的・客観的な事実に基づく概念である一方、アニマルライツは人による動物の利用を否定し、動物愛護は人の主観的・感情的な要素が優先される点で、大きな違いがあります。

アニマルウェルフェアは、欧米を中心に発展してきた概念とされています。日本をはじめとする国際レベルでは、まだ発展途上の段階にあるテーマだと捉えられていましたが、企業の責任ある行動（RBC：Responsible Business Conduct）の国際スタンダードである「OECD 多国籍企業行動指針」が改定され、初めてアニマルウェルフェアが言及されたことを受けて、国際的な関心が急速に高まっています。

日本でも、今年7月、農林水産省が「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」を策定し、国としての指針を初めて公表しました。SDGs・ESG といった社会課題の解決に向けて、アニマルウェルフェアの概念が日本国内でも浸透・定着していくのが注目されます。

関連レポート

- ・ 田村洸樹「ESG インサイト『OECD 多国籍企業行動指針の改訂と日本企業への示唆』」（2023年6月）<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/258550.html>
- ・ 田村洸樹「企業行動デュー・ディリジェンス拡大への対応～責任ある企業行動のための国際ガイドライン改訂案から読み解く～」(2023年5月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/250025.html>
- ・ 田村洸樹「【1 分解説】CSDD 指令案とは？」(2023年3月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/236750.html>
- ・ 田村洸樹「【1 分解説】多国籍企業行動指針とは？」(2023年2月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/233387.html>